

# COMMUNICATION

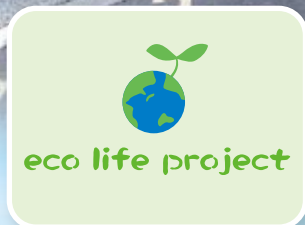
## 中特グループで Tポイント導入!!

中谷さん

前田さん



PickUP社員



### CONTENTS

- ◆ ダチョウの卵でお菓子作り
- ◆ エコライフプロジェクト始動
- ◆ 廃棄物法令レポート
- ◆ 新入社員紹介
- ◆ この人に聞く!
- ◆ 橋本社長のミャンマー視察レポート

## 冒頭あいさつ

中特グループ副代表 橋本ふくみ



皆様、こんにちは！

一年なんて本当にあっという間ですね。今期に入り早10か月が経とうとしています。私たちは今期、全社を挙げての大目標の一つとして、『地域社会への貢献に取り組む』を掲げています。

地域社会への貢献活動については、日を追うごとにその思いが強くなっております。

私たちは、2015年で創立50周年を迎えます。ここまで続けて来られたのも、地域の皆様のおかげであると心より感謝しております。

昨年1月に立ち上げました『ポータルハートデスク』は、困ったことが起きた時など何処に連絡したら良いのか分からないという声にお応えしたものです。

また、2月より、不用品や遺品整理などのご依頼元に、ポイント全盛期に合わせて『Tポイント』を付与するサービスを始めました。

そして、今年の4月には、『周南市・ライフライン等事業関係者による連携協定』を結びました。

これは、市内の高齢者の孤立死・孤独死予防、早期発見を目的に、高齢者見守り相談体制を強化するという取り組みです。

定期的に中山間地域のお宅に伺う私たちには、正に適職であると考えております。

私は最近、遅ればせながら、エーリツヒ・フロム著の『愛するということ』を読みました。その中の言葉をご紹介して、私の挨拶文を終わらせて頂きます。

「—— 愛の本質は、何かのために「働くこと、何かを育てる」ことにある。愛と労働は分かちがたいものである。」

人は、何かのために働いたらその何かを愛し、また、愛するもののために働くのである。」



# 中特グループでTポイント導入!! 「不用品処分」「遺品整理」でTポイントが貯まります。

このたび中特グループがTポイントの加盟店となり、平成25年2月よりサービスを開始しました。

Tポイントカードは、日本人の約4人に1人が所有する知名度・普及率が高いカード。全国の大手加盟店でもポイント

を貯めたり使えたりすることから、弊社としてもサービスの一環としてお客様へ還元できるツールとして注目しました。

廃棄物処理でのTポイントの導入はあまり見当たらないことから、当グループをもっとお客様へ知っていただく取り組みとして導入した

当面、グループ会社の(株)吉本興業で

「不用品処分」「遺品整理」について、Tポイントカードのポイント対象となります。

まずは、以上の業務がポイント対象ですが、将来的には当グループが個人向けに行なう他のサービスにも広がっていく予定です。

「不用品処分」「遺品整理」のご利用は中特グループ・ポータルデスク(フリーダイヤル0120・105・568)まで。

中特グループ  
ポータルハートデスク + T-POINT

中特グループでは不用品処分等をお任せいただきますと、  
**T-POINT が貯まります。**

**Tポイントが貯まる対象内容とポイントについて**

- 引越しに伴う不用品処分
- ご家庭の粗大ごみ処分
- 遺品整理

**100円につき 1ポイント**

※個人契約に限ります。(法人契約は除きます)

無料でお見積りいたします。ご依頼はポータルハートデスクへどうぞ!

お問い合わせは下記フリーダイヤルへ  
ポータルハートデスク専用ダイヤル  
**0120-105-568**

ホームページからメールでお気軽にお問い合わせ・ご依頼ができます  
<http://www.portalheartdesk.com/>

中特グループ  
株式会社 吉本興業  
〒745-0801 山口県周南市久米3044-2

# ダチョウの卵でお菓子作りをしました。



1月1日(火)・1月3日(木)に、中特グループ・下松リサイクル工場で飼育しているダチョウが卵を産みました。ダチョウは本来暖かい時期に卵を産むことが多いといわれていますが、この寒い時期に産卵をして大変驚きました！

そしてその後も産み続けて、現在では100個を超えるに至っております。せっかくなので産んだ卵を利用して、レッヒェルン洋菓子店様にご協力いただきいくつかお菓子を試作していただきました。

作っていたいたお菓子は、チョコケーキ・ロールケーキ、シユークリーム、プリン、フィナンシエです。

出来た数はチョコケーキ・ロールケーキは卵2個で16本、シユークリームは卵1個で47個、プリン・フィナンシエは卵1個でなんと60個も作れました。

社員でおいしくいただきました。





## eco life project



# エコライフプロジェクト始動

この度20歳代の若手社員を中心に「エコライフプロジェクト」というプロジェクトチームが立ち上がりました。

環境関連企業に勤務する社員として、なかにか会社や地域に貢献できることはないかという視点で、今後具体的な活動内容を検討していきます。社内外でのイベントやボランティア活動に積極的に関わっていく予定です。

中特グループの将来の担い手としてメンバーが一致団結して頑張ります！

《エコライフプロジェクトメンバー》

リーダー

廣中 秀光

(株)中特ホールディングスCS営業部  
サブリーダー

和田 総志 (中国特殊(株) 技術開発部)

山本 勉 (中国特殊(株) 技術開発部)

相本 百合子

(株)中特ホールディングス 総務部

中谷 悦次郎 (中国特殊(株) 技術開発部)

前田 浩奈

(株)中特ホールディングスCS営業部

捨てる！変わる！トキメク！



中特グループで  
**断捨離**

Let's

[ダンシャリ] しませんか？

不用品処分のご依頼はポータルハートデスクへどうぞ！**無料**でお見積りいたします！

中特グループ  
ポータルハートデスク



お問い合わせは下記フリーダイヤルへ  
ポータルハートデスク専用ダイヤル

**0120-105-568**

ホームページからメールでお気軽にお問い合わせ・ご依頼ができます  
<http://www.portalheartdesk.com/>



"Think of Next"

CHUTOKU GROUP

中特グループ  
株式会社 吉本興業

〒745-0801 山口県周布町久米3044-2

**T-POINT**

7/31まで  
ポイント3倍  
キャンペーン中！

※個人契約に限り。法人契約は別です。

# 『廃棄物法令レポート』

Report

今回は、「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」のよくある運用ミスについて解説します。

まずは、2010年改正で追加されたマニフェストに関する罰則から

2010年改正によって、処理業者に対し、マニフェストの交付がない産業廃棄物を引き受けることが禁止されました。

この義務に違反して、マニフェストが交付されていない産業廃棄物を引き受けた処理業者は、「6ヶ月以下の懲役、または50万円以下の罰金（廃棄物処理法第29条）」という懲役付きの刑事罰の対象となってしまう。

この罰則の対象は紙マニフェストで運用をした場合だけでなく、電子マニフェストで運用をした場合も対象になりません。

そのため、産業廃棄物の引渡し時

に排出事業者の担当者が同席できないような場合は、紙から電子マニフェストの運用に切り替えてもらうのも一つの解決策です。

万が一、廃棄物処理法違反で右記の罰則の対象になってしまうと、欠格要件に該当することになってしまい、すべての業許可が取消されることとなります。

以前なら当たり前のようになっていた顧客サービスが、業許可取消という取り返しのつかない結果を招く原因につながる可能性があります。

今のところ、そのような理由ですぐに業許可が取消された事例はありませんが、山口県は行政処分が厳しい事で有名な自治体ですので、くれぐれもご注意ください。

次は、「処理終了年月日」についてです。

処理業者さんのところを訪問すると、運搬終了年月日と処分終了年月

日、最終処分終了年月日の3つが、同じ日付になっているマニフェストが非常に多く見受けられます。

もちろん、本当に最終処分に至るまで即日処理しているのであれば問題ありませんが、そのようなケースは現実には非常に少ないのではないのでしょうか。

マニフェストの処理終了年月日は、廃棄物処理法で決められた記載事項であり、排出事業者から頼まれた廃棄物処理を完遂したことの報告でもあります。

そのため、実際には処理をしていないのに、処理をしたかのように日付を装うことは「虚偽記載」になってしまいます。

このようなマニフェストの運用をしていたことが発覚し、事業の全部停止処分になった事例が数年前に発生しています。

個別の排出事業者ごとに産業廃棄物の処分終了年月日を特定するのは非常に困難だと思えますが、その場合でも、帳簿と照らし合わせて妥当と思われる処分終了年月日をマニフェストに記載する必要があります。

産業廃棄物処理企業の場合は、マニフェストの運用が実務的に非常に重要なポイントとなりますので、運用に間違いがないかを常にチェックし続けてください。



行政書士エース環境法務事務所代表  
行政書士 尾上雅典先生

中特グループ法務顧問。許認可申請の代行と言った単なる行政書士業務に止まらず、廃棄物処理企業の経営基盤確立のため、従業員教育、法務相談など、廃棄物処理企業に特化したサービスを提供されている。

その他、業界誌への寄稿、排出事業者向けのセミナー・講演、廃棄物管理状況の監査など、廃棄物処理企業以外に関係者にも廃棄物の適切な処理を進めていただくべく、精力的に啓発・教育活動も展開中。

# 活動報告

## Topic

### リサイクルマスター検定を受検しました

10月18日（木）16時より、(株)吉本興業社員がリサイクルマスター検定3級を受検いたしました。

リサイクルマスター検定とは、リサイクルのプロとして廃棄物処理・リサイクル業の基本を学び、礼儀・挨拶・思いやり・コミュニケーション力など人間力を高めること、またプロ意識を育むことを目的としている検定です。

検定を受けるにあたりNPO法人廃棄物教育センター理事長 松岡力雄様よりリサイクルのプロとして廃棄物処理や仕事に向かう姿勢などの講義を受け、その後参加者全員で検定を受けました。



### 法務勉強会を開催しました

10月25日（木）中特グループ法務顧問 行政書士エース環境法務事務所代表 尾上 雅典様をお招きして法務勉強会を開催いたしました。

今回の勉強会は、社員から出た質問事項に対する回答・解説を中心に廃掃法の勉強をしました。実務に即した勉強会となり、参加者みな真剣に興味深く講義を受けました。



### やまぐち総合ビジネスメッセに出展しました

10月26日（金）キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターで開催された「やまぐち総合ビジネスメッセ」に中特グループも出展しました。

やまぐち総合ビジネスメッセは、県内200以上の企業や団体がブースを設けて開発製品やサービス・技術を展示する県内最大規模の展示会です。

中特グループのブースにも多くの方にお立ち寄りいただきました。



パンフレットを入れてお渡ししたハートマークのエコバックも大好評で、会場では多くの方が当グループのエコバックを持ち歩いていました。



### 第24回「周南掃除に学ぶ会」に参加しました

10月27日（土）徳山小学校にて第24回「周南掃除に学ぶ会」が開催され、中特グループから9名参加しました。

素手でトイレを磨き、驚くほどきれいにすることができました。すっきりとした気持ちになりました。



**交通安全講習会を行いました**

11月12・13・15日に株式会社ライフデザイン専務取締役 木津和晃様、ライフコンサルタント 藤本和哉様をお招きして中特グループ全社で交通安全講習を行いました。

講習では安全な運転方法や運転中に注意すべきこと、もし事故が起った場合の対応について例題を使って分かりやすく教えていただきました。



**山口大学内 業界・企業研究会に参加しました**

11月17日(土) 山口大学工学部(常盤キャンパス)で開催された山口大学内 業界・企業研究会に中特グループも参加いたしました。

たくさんの方々が当社のテーブルに立ち寄ってください、熱心に業務内



容の説明を聞いてくださいました。

特に汚泥のセメント原料へのリサイクルプロセスや、ダチョウ飼育による食品リサイクルの取り組みに対してたくさんご質問をいただき、リサイクルの重要性を多くの方々に知っていただくことができたことを大変嬉しく思いました。



**「こどもっちゃー商店街」に参加しました**

11月23日(金)に周南市徳山商店街(銀座通り中心)で開催された「こどもっちゃー!商店街」に中国特殊(株)が参加しました。



「こどもっちゃー!商店街」とは、団体・企業の方と働く体験を通して、小学生の皆さんに働く喜びを感じてもらい、将来の夢を描いてもらうことを目的としたイベントです。



中国特殊(株)では、排水管のカメラ調査の仕事を体験していただきました。

お仕事体験後はアルバイト代としてももらえる「Mochchal」(会場内通貨)を利用して、ほかの小学生の働くお店で買い物をするなど、徳山商店街はとても賑わっていました。



**2012 周南冬のツリーまつりに参加しました**

12月23日(日)に開催された2012

周南冬のツリーまつりに中特グループも参加しました。

今年は青空公園にブースを設けゴミ分別ゲームを開催。正しく分別できたからお菓子をプレゼント!大盛況で多くの方にご参加いただけました。ゲームをして「知らなかった」「間違えて覚えていたので勉強になった」と言われる方も多くいらっしゃいました。

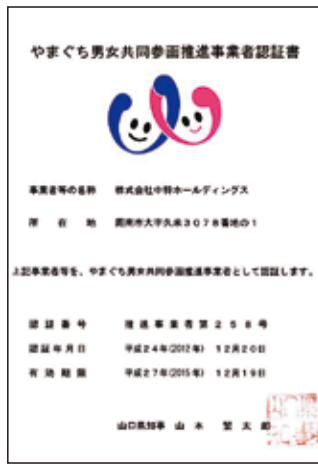
夜になると会場周辺の清掃ボランティア活動を行いました。雪の降る寒中での清掃活動でしたが、町をきれいにすることができ、すっきりとした気持ちになることができました。





やまぐち男女共同参画推進事業者の認証を受けました。

12月20日(木)に(株)中特ホールディングス、(株)吉本興業、(株)リライフ、(株)藤井興業が「やまぐち男女共同参画推進事業者」の認証を受け、中特グループ全社で認証を受けることができました。



**会社説明会を開催しました**

2月14日(木)に2014年春新卒向け会社説明会を開催しました。リクナビにエントリーされた多くの学生の方々にご来場頂きました。



**中特グループ親睦会のお花見を開催しました**

4月6日(土)に社内駐車場にて中特グループ親睦会によるお花見を開催しました。あいにく天候は雨でしたが、バーベキュー、カラオケ大会と大いに盛り上がりました！



**中国特殊(株)が「高齢者等見守り活動に関する周南市・ライフライン等事業関係者による連携協定」に調印をしました**

4月24日(水)、中国特殊(株)が「高齢者等見守り活動に関する周南市・ライフライン等事業関係者による連携協定」の締結をすることとなり、調印式に出席しました。

周南市も少子高齢化が進んでおり、ご高齢の方が地域社会の中で孤立化することで、介護・福祉面はもとより、防犯・防災上も

危険な状況にさらされてしまう事態が生じております。

そのような中で、生活に密着した事業者が行政と連携し、ネットワーク基盤を築くことで、安全・安心して暮らせる社会・住みよい周南市の構築に寄与し、多くの御高齢者の支えとなるようにとの目的で、このたびの連携協定がなされました

当社も業務をとおして、市街地のみならず中間山地にお住いのお客様にもお世話になっております。定期的にお客様とお顔を合わせ、ふれあうことができる立場として御高齢者の方々の支えになれたらと考えております。



# Visitor Introduction

～ お客様紹介～

## 新日鐵住金株式会社 大分製鐵所光鋼管部



昨年10月に新日本製鐵(株)と住友金属工業(株)が経営統合して国内に16箇所の製造拠点を構える「新日鐵住金株式会社」として新たなスタートを切りました。

社の基本理念は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献することです。

光では、瀬戸内海国立公園に面した風光明媚な環境の中で地域と協調しながら、世界トップクラスの高級ラインパイプ、最長1kmの展開長さを得られる独自商品のPIC(Pipe in Coil)、国内唯一の熱間押し製法によるデザインフリー形鋼、シームレスから溶接管まで国内で唯一シリーズ製造している特殊鋼管などのユニークな高付加価値商品を製造しております。

### 新入社員紹介



宇部高専を卒業し、四月より当社へ入社致しました、前田と申します。

入社して、二ヶ月を経過し職場の皆様に温かく迎えて頂き、徐々に職場環境にもなれてきました。

現在現場・営業実習中という事で、各グループ事業部にて実際に作業を学ぶ、経験させて頂き、日々勉強の毎日です。

まだまだわからない事も多く、職場の方々にはご迷惑をおかけするかとは思いますが、持前の笑顔と明るさを武器に、当社の一員として努力してまいりますの

で、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

(株)中特ホールディングス

CS営業部

前田 浩奈(写真右)

四月に入社した中谷です。

大学時代は関東地方だったため四年振りに山口に帰ってきました。

入社して日が浅いことで慣れないこともありませんが、早く一人前になれるように頑張りますのでご指導の程お願い致します。

中国特殊(株)技術開発部

中谷 悦次郎(写真左)



## この人に聞く!

中特グループを長く支えてくださっているベテラン社員さんを紹介するコーナー「この人に聞く!」がスタートです。

吉原 保英さん

第一回は、中国特殊(株)エコ事業部 e クリーニンググループ・吉原保英さんにインタビューしました。

Q1. 入社はいつですか?  
昭和56年5月で29歳の時です。

Q2. 入社したきっかけは?  
知り合いの紹介です。深くは聞かないでください(笑)

Q3. 入社されて何年ですか?  
もう32年も経ちました。



Q4. 昔と今でどのように仕事が変わってきましたか?  
今は機械化が進んで、作業方法が昔とは大きく変わりました。入社当時は、TVカメラ等も無く高圧洗浄車と強力吸引車で下水管を清掃する作業が主でしたが、現在では、新しい機械も増えて下水管の調査から悪い箇所の補修といったような提案からメンテナンスまでの作業が自社で出来るようになりました。

Q5. 今までで一番印象に残った作業は?  
入社3~4年後に遠方へのカメラ調査に1人で1か月間出張に行った事です。繁華街での夜間作業のため、人も多く周囲に気を配りながらの作業は大変でした。

Q6. 今から何をしたいですか?  
eクリーンの作業は専門知識を伴うため、仕事を覚えるのが大変でそれを実行していく事も難しいですが、長年積み上げてきた知識と経験を後輩へ受け継いでもらう事が今からの自分の役目かな...

(インタビュー: (株)中特ホールディングス 総務部総務グループ 橋本・坂本)

# 橋本社長ミャンマーレポート

2 / 18 ~ 2 / 23 の日程で、ミャンマーへ行って来た。

国土面積は日本のおよそ1.8倍、人口は6千万人（正確なデータはこれからとも）。

もうすぐ3年目を迎えるという現政権は、国際社会への完全復帰を進め、堅実な成長を目指すとのことで、2014年にはASEANの議長国に就任することも決まっている。

今回訪れた場所は、「ソーモウカイ製鋼所」や「ソバイド・リサイクル団地」「ミンガラドン工業団地」など15箇所以上。予想に反して、意外にも車が多く、その9割以上が日本の中古車だった。しかも10年から20年もののが日本の社名を付けたまま走っている。聞くところによると、取替えて消していないとのこと。日本製をアピールするためだ。

我が国では用済みとなった中古車が、ミャンマーで第二の人生を生き活きと過している。



こちらの写真はミヤウングワ工業団地内にある「**ソーモウカイ製鋼所**」。



従業員約100名で月間5千トンの棒鋼を生産しているとのこと。

ミャンマーの電力事情はまだまだ乏しいことから、一日5時間の供給の中で生産しているとのことだ。写真をご覧の通り、まあ何と言いますか、こんな環境で生産しています。

続いてヤンゴン市内からパザンクリクに架かるマハバデラ橋とヤンゴン川に架かるタシエイ橋の二つの橋を渡った場所にある「**ティラワ経済特区**」。

この工業団地は、なんと東京ドーム510個分に相当する面積で、日本とミャンマーが共同で進める大型プロジェクトである。47社の日本企業が進出することが決まっているが、ご覧のように、幹線道路と送電線は整備されているが、他はまだまだこれからのようだ。



次は、「**ソバイド・リサイクル団地**」で撮ったもの。ここでは、ヤンゴン市内で集められ

たビン、カン、ペットボトル、鉄スクラップ、ダンボールなどが人の手によって分別、破砕され、国内外へ販売されている。私は、何だか再資源化の原点を見た気がした。



バインタイン地区にある自動車中古部品卸売り団地には、自動車の中古部品だけを取り扱っている販売会社があると600も軒を連ねている。

その全てが日本の中古車部品で、10年、20年は当たり前、30年も前の部品が売られ、そして買われている。日本では全く見向きもされない部品が重宝がられており、まだまだ日本から供給して欲しいと言っていた。



左下の写真は「**シュエダゴンパゴダ**」で、ヤンゴン中心部にある寺院である。金色の部分は何れも金箔だ。一番高い所には、野球ボールほどのダイヤモンドが飾られているのだそうだ！その周辺にはミャンマーでよく取れるルビーやサファイヤが散りばめられているとのこと。思わずルパンなら奪えるんじゃないかと心配してしまった。

ミャンマーは約9割が仏教徒で、こういったパゴダはたくさんあって、お祈りするのは日常のこと。小さな子どももご覧の通り。



誰も教えていないのに、親の姿を見て見よう見まねでお祈りしている。

こちらは、「**チャウツトジーパゴダ**」に祀られている巨大な寝仏で、全長は約70メートルもある。



この写真の後方に見えているのがアウンサンソーチーさんの邸宅。交通量が激しく道路が渡れず、残念ながらこの距離となった。



ヤンゴンではかなりの車が走っているが信号機や横断歩道がほとんどない。（はねられる方が悪いって感じかな）観光バスが何台か停車し、今や観光スポットの様相だ。

ミャンマー人は親日家と言われるが、本当に何処へ行っても安心して視察出来た。

インフラの整備はまだまだこれからで、そこからゴミだらけ。郊外の食堂のトイレは、下を覗いたらブタがいた。

発展は、道路、水、電気、建物などから始まって、いわゆる私たちのような静脈産業はその次の段階だろう。このところ、途上国を訪れることが多いが、ゴミの処理、下水道の整備がほとんど手つかずの状態である。

改めて、わが日本は本当に素晴らしいと感じる。要らなくなった物に手間隙掛けること、これこそが本当の先進国だと実感した。

## 社員の趣味



私の趣味はプロレスラーのマスク収集です。数えたことはありませんが、実家のものを合わせると30枚近くあります。

中学生の頃にタイガーマスクに魅了され、プロレスファンになりました。

私は体格的に小柄でしたので、プロレス

ラーにはなりたいたとは思いませんでしたが、

ずっとプロレスが好きでした。社会人となり

京都にいた頃、当時人気が出始めた「みちの

くプロレス」が近所の体育館にやってきたと

きに、売店で売られていた選手用のマスクを

手にして、はじめて、縫製のすばらしさ、デ

ザインの美しさに気付き、心を奪われました。

京都にマスク職人のお店があったことや、パ

ブルの後半ということも重なり私のマスクは

増加していきました。

今では、新しく購入することはあまりあり

ませんが、部屋にマスクを飾り定期的に飾る

マスクを変えて楽しんでいきます。老後はマス

クを自分で作ってみたい!と思っています。

(株)中特ホールディングス

CS 営業部 CS 営業グループリーダー

石田 嘉邦



## 3R3R3R...

先日、あるお寺の住職の話をお聴きする機会があった。その際に仰られた忘れられない言葉がある。

「あなたの顔を見ているだけで心の波が沈まる。」そんな人に私はなりたいたい。」

我々は“明るく元気”をモットーに仕事をしているが、更に目指すべきところはこういう事なのかもしれない。

3Rとは、発生抑制・再利用・再生利用という意味だが、笑顔や元気はいつでも・何度でも繰り返しあった方が良く、これらは抑制など必要ない。反して、怒り・哀しみ・妬みなどは発生させたくないし、繰り返したくもないものだ。と考えた場合、3Rとは廃棄物のみに該当する事なのではないかと思う。

いかに発生を抑え、効率の良いリサイクルを考え地球環境を守るか…生き物やモノをもっと大切にしなければならない。

住職は私にこんな事も話して下さった。「モノにはすべて命が宿っている。食べたり使ったりする事は当たり前になっているけれど、感謝する事を忘れずにしなさい。」と…

改めて反省する機会を頂いた。感謝。

(株)吉本興業 代表取締役 吉本妙子

## 編集後記



今年約10日も早く梅雨入りしたものの真夏のように暑い日が続いています。皆さんいかがお過ごしでしょうか?まもなく7月、下松リサイクル工場にダチョウがやってきて1年になります。「食品リサイクル」という目的のもと、スーパーなどから出る野菜くずなどを1羽あたり1日約10kg食べてくれます。その間、担当者のご心配やご苦労がありつつ、今までに100個を超える卵を産みました。寒い時期の産卵はあまりないと聞いていましたが、いきなり正月早々に産卵したのにはさすがにみな驚き、喜びました。今や中特グループのマスク的存在になったダチョウたち。今後は卵の活用方法を含め、さらなる展開があるはず!

世の中は連日「アベノミクス」という言葉が躍り、また私達の生活に実感のないままどうやら景気回復の方向に向かっているような「気」がする今日この頃:景気も「気」から、まずは一人一人の気持ちを前向きに、お客様のために私達の目の前の業務を全うしていきましょう!